

平成25年7月19日グリーンテクノバンク・てん菜研究会「第11回技術研究発表会」(主催：NPO法人グリーンテクノバンク、農林水産省、共催：農研機構北海道農業研究センター、(社)北海道てん菜協会)が札幌市の北農ビルにおいて開催されました。

てん菜研究会会長の三上哲夫氏(北海道大学名誉教授)の開会挨拶

あと、技術研究発表会では糖業各社、北海道大学、北海道農業研究センターなどから一般講演10課題が報告されました。

午後からは、『ここ数年のてん菜の不作への対応と今後に向けて』をテーマに以下の特別講演が行われました。

1) てん菜栽培をめぐる情勢について

(北海道農政部生産振興局 農産振興課畑作グループ 主幹 月岡直明)

2) 近年における低糖分の要因と対策、今後の温暖化に備えて

(北海道立総合研究機構 北見農業試験場 研究部 研究主査 池谷 聡)

3) テンサイの生育・栽培と気象との関わりについて

(北海道大学大学院農学研究院 環境資源学部門地球環境学分野 教授 鮫島 良次)

4) タイトル：てん菜作付の安定確保に向けて一全道JAてん菜作付意向調査結果より

((社)北海道地域農業研究所 研究次長 鷹田 秀一)

この報告を受けて講演者の他、コメンテーター(各糖業者)の参加により『パネルディスカッション』が農研機構北海道農業研究センター畑作研究領域長平藤雅之氏の司会で行われました。

てん菜研究会は、典型的な産官学から構成されており、糖業各社、関連企業、農協、大学、農研機構、道総研など幅広い分野から112名の出席者がありました。

